

校長のひとりごと1

「心に移りゆくよしなし事をそこはかたなく書き作れば…」

校長の内田です。このタイトルは何？って思われた方も多と思います。吉田兼好が書いた日本三大随筆の一つと言われている「徒然草」の冒頭の一部です。「つれづれなるままに、白くらし、硯にむかひて、心に移りゆくよしなし事を、そこはかたなく書き作れば、あやしうこそものぐるほしけれ。」意味は「特にやるべきこともなく、退屈だったので、一日中硯に向かって、心に浮かんでくるいろいろなことを、ただ書いてみると、妙に夢中になって気が変になりそうだ。」ということです。

高校時代、古典は大の苦手（今もです）。当然、成績も赤点よりちょっといいくらい。なのに、「枕草子」や「方丈記」、「平家物語」、「奥の細道」等々冒頭の部分だけは不思議と覚えてます。よっぽど、覚えさせられたのか…（汗）

その中で好きだったのがタイトルにしたフレーズ。今は、やることも多く暇でもありませんが、私が校長として、一人の人として思ったことを伝えていければいいと思ってこのタイトルにしてみました。これからどれくらい書けるかはわかりませんが、素直に思ったことを書いていきたいと思えます。

ドキドキドン！

ドキドキドン！一年生（作詞 伊藤アキラ 作曲 桜井順）

サクラ咲いたら一年生 ひとりで行けるかな
となりにすわる子いい子かな ともだちになれるかな
だれでもさいしょは一年生（一年生） ドキドキするけどドンと行け
ドキドキドン！一年生 ドキドキドン！一年生



チョウチョ飛んだら一年生 カバンはおもいかな
ねむたくなったらどうしよう きゅうしょくはうまいかな
みんなもおんなじ一年生（一年生） ドキドキするけどドンと行け
ドキドキドン！一年生 ドキドキドン！一年生



ヒバリ鳴いたら一年生 ぼうしはにあうかな
雨の日かぜの日へいきかな ベんきょうもするのかな
しんそうおさえて一年生（一年生） ドキドキするけどドンと行け
ドキドキドン！一年生 ドキドキドン！一年生

いきなり「ドキドキドン！」（笑）私の大好きな歌です。「ひらけ！ポンキッキ」（もう高校生はしりませんね）の中で1986年に歌われていました。小学校への入学が近い園児の期待と不安がとってもよく描かれていますね。この歌の対象は園児なんですけど、いくつになっても新しい場所や環境に行くのは不安があります。高校生だって同じ。様々な中学校から入学してきて知っている人より、知らない人が断然多くて…電車に乗ったり、授業も難しくなり…毎日、不安と期待と入り混じった気持ちでドキドキしてることでしょ。この歌ではないけど、ドンと行くしかない。大丈夫！隣の人もドキドキしてますから。自分以外はみんな落ち着いて見える…みんなそう思ってます（笑）

何よりも私も「橋校一年生！」ドキドキするけどドンと行きます。よろしくおねがいします。